

# “優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から ～

小学校版



本年4月17日に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」について、全国や静岡県の調査結果が新聞等に掲載されました。文科省から届いた焼津市の調査結果を分析しましたので、その概要をお知らせします。

まずは、「**焼津市教育大綱**」に関する子供への質問事項の結果から報告します。

現行の教育大綱は、子供たちがこれからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分らしい人生を輝かせていくため、「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標として、令和3年度から施行され、今年是最終年度である5年目を迎えています。

## 「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「愛しい」人に……

- つまずいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切にし、和の心をもった人

子供たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、つまずきや失敗、試行錯誤する経験がとても大切です。思い通りに達成できなくても、そこで諦めるのではなく、繰り返し挑戦する経験を重ねる中で、真の強さや優しさを身に付けていくのです。

以下の表は、児童質問紙の「教育大綱」に示された理念等に関わる質問事項の令和3年度から今年度（7年度）の結果を示しています。もともと95%超の④の質問事項を除いた全ての項目で、多少の波はありますが、着実に数値が上がってきています。

No.	学習状況調査(児童質問紙)の「教育大綱に」かわる質問事項	R3	R4	R5	R6	R7
①	自分には、よいところがあると思いますか	75.8	80.1	83.9	83.0	85.4
②	将来の夢や目標を持っていますか	76.4	79.2	79.2	82.3	81.7
③	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.8	88.8	93.7	92.9	92.8
④	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	93.9	96.3	96.4	95.7
⑤	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	70.3	73.8	78.4	79.1	78.4
⑥	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか			90.9	91.8	93.1
⑦	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	73.0	72.1	75.7	82.7	79.9

これらの結果から、各学校で教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、日々の教育活動において、「子供たちが自ら判断し、自ら動き出すことを意図した働きかけ」を積み上げてきており、それがこの成果に結びついていると考えられます。なお、本年度の焼津市の学校教育の重点は「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」です。

## ■■ 国語・算数・理科の学習について ■■

### 【国語】「目的に応じて書き表し方を工夫する」…高い正答率

国語では、今の時代にとっても大切な「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する思考力・判断力・表現力」を身に付ける学習をしています。これに関連した問題について、焼津市は、全国を上回る高い正答率でした。日々の授業で、示したい事実や自分の考えを表現するときに、図や表を用いることで自分の考えを深めたり、相手にとってもより分かりやすくなったりする有効性を理解していることが分かります。

一方で、複数の資料から必要な情報を関連付けて考える問題では、課題がみられました。今後は、文章中に用いられている図表などがどの文章と結びつくのかを明らかにして読むことや資料相互の関係性をとらえる視点をもつことなど、指導の工夫をしていきます。

また、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という質問に対して、約9割の子供が肯定的な回答をしています。

これは、国語の授業で子供たちの疑問や解決したい課題を大切に、課題解決型の学習を行っているからだと考えられ、今後も継続して取り組んでまいります。



### 【算数】「算数の勉強が好き！」…全国比+1.6P

「算数の勉強が好きですか」という質問に対し、前向きに回答した子供が、全国を1.6ポイント上回りました。今後も、より一層、算数の学びに向かう思いを高められるよう、子供の興味・関心を反映した内容や日常の場面とのつながりを意識した問題を取りあげていくなど、指導の工夫を継続していきます。

領域別に見ると、「図形に関わる問題」、「分数に関わる問題」等の正答率が比較的高く、図形に関する基本的な知識や分数の計算処理の仕方などが定着している様子が窺えます。一方で、「変化と関係」「データの活用」では、数値がどのように変化するかを問われる問題で、もとにする量・比べられる量の理解に課題が見られました。

子供の疑問や間違い等を大切に、これまでの授業を継続し、今後の授業ではさらに、量の変化の関係を捉えるために、図・表・グラフから読み取る場面を設定するなど、子供がもとにする量と比べられる量の関係の理解を深めることができる授業を実践していきます。

### 【理科】「授業の内容がよく分かる！」…87.2%



「理科の勉強が好き」、「授業の内容がよく分かる」は、それぞれ 78.3%、87.2%で、多くの子供が理科の授業を楽しみにしていることが分かります。領域別では、正答率が高いのは「地球」を柱とする領域でした。

一方で、金属3種類で、どれが電気を通すか、磁石につくかを完答する問題は全国的に正答率が低く、本市においても同様の結果でした。

また、おしべ、めしべを図の中から選択することは8割弱の子供ができていましたが、同じ設問にあった受粉という用語が答えられず、完全な正答にはならない子供が多く見られました。知識としては、身に付けていると思われそうですが、分かったことを関連付けて思考することに課題があると考えられます。

今後はより一層、科学的な見方・考え方を働かせ、理科のもつ楽しさを味わい、理科好きな子供たちが増えるような授業実践に努めます。また、子どもたちが、科学的な言葉を用いて学習のまとめをしたり、習得した知識や学習の成果を他の学習や生活に関連付けて考えたりする場を充実させていきます。

## □□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

### 1 家庭生活

「朝食を毎日食べている」は 94.9%、「毎日同じくらいの時間に起きる」も 89.0%で、焼津市の多くの子供たちは、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かります。

また、普段（月～金）の過ごし方について、「1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか」について、30分以上取り組んでいる子が90%（全国比+9.0P）で、平日の家庭学習が定着している様子がうかがえました。一方で、読書に親しんだり、新聞を読んだりする習慣が身に付いている子供は少ないと思われます。

### 2 学校生活

「学校に行くのが楽しい」は 85.2%、「友達関係に満足している」は 91.2%と、安定した気持ちで学校生活を送っている子供が多いことが分かります。また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」も、全国比+4.1Pでした。今後も、子供一人一人を大切に声かけや支援に努めてまいります。



### 3 社会（地域）生活

「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった」が 85.3%と全国と比較して高い結果でした。子供にとって、学校だけでなく自然の中での経験や家庭や地域社会で多くの人と交流し様々な考えに触れることは、豊かな学びに結びつき、成長していく上でとても大切なことです。一方で「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」については 37.1%と、全国と比較して、その機会が少ないことも見えてきました。学校と家庭、地域とが一体となって、子供たちの豊かな学びの場を創出していきましょう。

## □■□確かな学力を身に付けるために必要なことは…□■□

○棒グラフの棒の上の数値は、3教科を平均した正答率（%）です。

○棒グラフは左から順に以下のとおりの選択肢順に並んでいます。（勉強時間のグラフを除きます。）

・当てはまる ・どちらかと言えば当てはまる ・どちらかと言えば当てはまらない ・当てはまらない

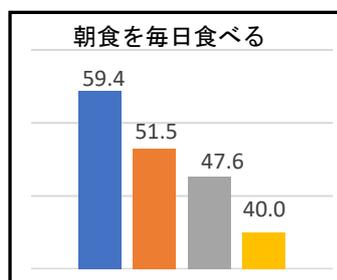
### 1 生活習慣（自分で調整）

「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る(起きる)」などの基本的な生活習慣が身に付いている子供は、学習内容がきちんと定着していることが、今年度の結果からも明らかになっています。

また、「②授業以外の、平日1日当たりの

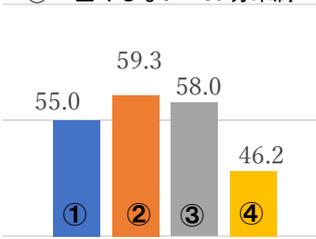
勉強時間」では、「30分以上」と「30分未満」で、正答率に大きな差が見られました。一方、右のグラフを見ますと、勉強時間が長いほど正答率が高いというわけではないことが分かります。大切なのは、自分に必要な学習を自分で考え、自分で学習方法や内容を選択して取り組むことです。このことは、「主体的に学習を調整できている」と考えている子供の方が、各教科の正答率が高いことから分かることです。

ご家庭でも、お子さんが、自分で考え、行動する姿を応援していきましょう。



授業以外の、平日1日当たりの勉強時間

- ① 3時間以上
- ② 1時間以上3時間未満
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 全くしない～30分未満

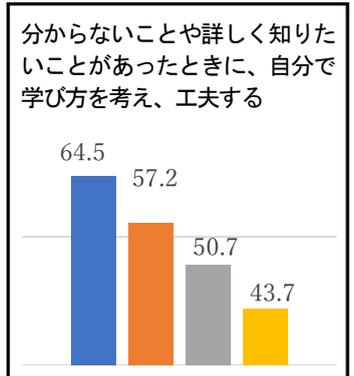


## 2 主体的に学ぶ態度や姿勢

「主体的」とは、自分で何をするのか判断し、自ら取り組む態度や姿勢のことです。主体的に学習に取り組んでいる子供は、学習内容がきちんと身に付いています。

「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」について「当てはまる」と答えた子供の正答率は、「当てはまらない」という子供に比べ、11.6P 上回っています。さらに、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」では、20.8P もの差が見られました。

自分の興味・関心をもとに、気になることを見つけ、自分の考えた方法で追究していく。そんな子供の学びを、学校では応援し、支えていきます。

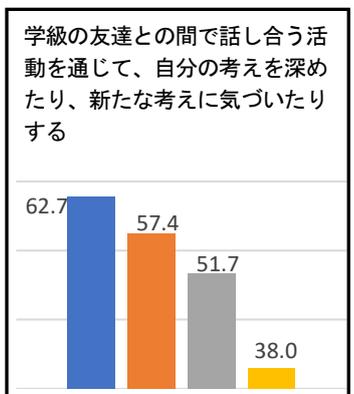


## 3 仲間との対話（協働）

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりする」という質問では、「当てはまる」と回答した子供と「当てはまらない」と回答した子供で、正答率に24.7P もの差がありました。また、「友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」も、21.9P と大きな差があります。

他者との対話を通じ、協働的に課題解決をする経験は、学力の定着を促すことにとどまらず、子供のウェルビーイングに影響を与えている可能性も示唆されています。

学校では、仲間と一緒に考えたり活動したりすることで課題の解決に向かう学習活動を大切にしている授業を行っています。



## かわいい子には旅をさせよ

学校では、「子供の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても子供が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねよう努めています。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえ、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことをできるだけ控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。合い言葉は、「**かわいい子には、旅をさせよ**」です。

子供たちの成長を支えることができるように、共に取り組んでいきたいと思っています。



※ お子さんに学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。



焼津市教育委員会  
教育センターみらい  
6 3 1 - 4 8 1 1

